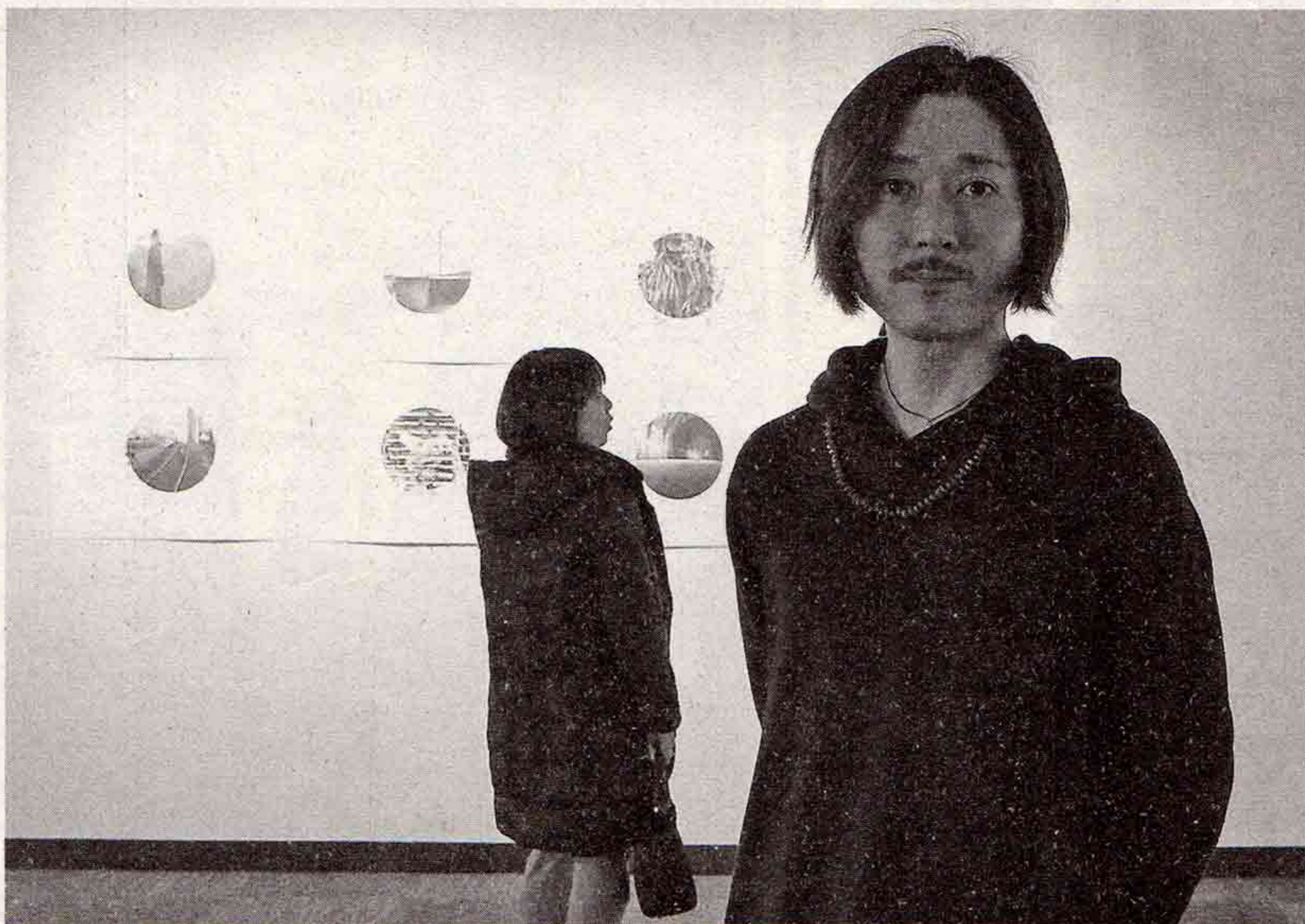


シラキノで2人成果展



光安雅伸さん

市外から芸術家を短期間招き、自然など恵まれた環境のもと創作に打ち込んでもらう南島原市のAIR(アーティスト・イン・レジデンス)事業で、3月まで作品づくりに取り組んできた男女作家2人の成果展が、版画に特化した芸術交流拠点施設「アートビレッジ・シラキノ」(南有馬町の旧白木野小)で開催されている。今月15日まで(月曜日閉館)。午前10時〜午後6時。入場無料。

南有馬の旧校舎 15日まで展示中

市のAIR事業は2019年度から公募を行

いに活動するアーティスト、光安雅伸(みつやす)さん(41)、ポーランド出身で東京都に在住のビジュアルア



発行所
株式会社島原新聞社
長崎県島原市中町865番地
電話代表 0957(62) 5141
夜間・日祭 0957(62) 5143
FAX 0957(62) 5142
E-mail press@shimabara.jp
郵便番号855-0044
(創刊)明治32年8月25日

南島原市AIRの招へい作家

原城跡や天草にひらめき

イスト、エヴェリナ・スコヴロニスカさん。版画制作工房を備えた旧校舎に1月下旬から3月下旬まで滞在し、創作に取り組んできた。2人とも自然が豊かで野菜や果物も新鮮であり、市民の応援もありがたい。工房も完備されており、創作に没頭できた」と絶賛する。

光安さんは世界各国を訪ね、旅先で撮った写真を日の丸の形にして作品に仕上げている。原城跡から出土した十字架をかたどった模様を散りばめた。展示作38点のうち、旧大野木場小学校舎などをモチーフにした3点を市へ寄贈した。「空間全体が作品となっており、十字架を星に見立てて鑑賞してもらえたら」と話した。

エヴェリナさんは古代ギリシャの女性詩人の詩にインスピレーションを得るなどした作品14点を並べた。うち、天草の島が海面に映り込んだ風景と女性のくちびるを題材にした2点を市へ贈った。「この施設から見える風景がきれいで、古くから女性のシンボルであるくちびるをモチーフにした」と語った。

きょうの暦

4月4日	旧暦3月12日
日出 6:05	月出 14:18
日入 18:43	月入 3:32
	満潮 6:40
島原	干潮 12:47
	満潮 18:17
口之津	干潮 12:37
	満潮 18:07

会場は南有馬町の広域農道と山口南有馬線の交差点付近。問い合わせ先は0957(85)3055。